

# 新たな技術開発が責務

北農工ほ  
か2団体

## 新年交礼会を開催

### ISOBUSやARで講演も

(一社)北海道農業機械工業会と北海道農機商業協同組合、十勝農業機械協議会は1月24日、平成31年農業機械業界新年交礼会をANAクラウンプラザホテル札幌で開催し、70人以上を参集し新年を祝った。また前段で開催した新春特別講演会では「農業機械ビジネスにおけるAR技術の活用最新線」をPTCジャパン(株)の後藤智氏、「ISOBUSの今後、国産農機への期待」を北海道大学大学院農学研究院の石井一暢准教授が講演した(後日掲載予定)。

冒頭、主催三団体を代 産施設で被害が生じた。 表して北農工の宮原薫会 会員も施設被害や物流混 長が「昨年は9月の台風 乱、停電により業務遅延 地震、そしてその後の大 事と握え、農業でもロボッ 規模停電が農業現場や生 けたが復旧しつつある。

一方、政府は先端技術を 利用してニーズに応える 事を科学技術振興策の柱 と握え、農業でもロボッ ト・ICTでスマート農

業の加速に注力する。道 内でもGPSガイダンス システム、自動運転でき るトラクタが急速に普及 する中で、今後はAIや ICTなど様々な農業支 援システムの実用化と普 及により農業現場が変わ ることを期待する。次な

る課題・目標に向けて新 たな技術開発を進めるこ とが、農機に携わる機関



宮原・北農工会長



土谷副会長の乾杯の 音頭でスタート

関係者の責務であり大規 模農業の北海道ならではの 貢献をしたい」と挨拶 した。

続いて来賓として経産 省北海道経済産業局地域 経済部の岡出直人部長 が「更に生産現場のシー ズやニーズを捉えた農機 産業振興を通じた道農業 の発展、道経済への発展 に寄与頂きたい。経産省 でも補正予算・31年度予 算で設備投資等支援する ものづくり補助金や技術 開発、事業承継など施策 により皆様を後押しした い」と挨拶。北海道経済

部産業振興課の新 津健次課長は経 済・観光が順調に 回復している旨を 報告し「今年は元 気を取り戻しさら なる発展を目指す 大切な年だ。もの づくり産業をほじ め産業活性化の促



永年継続役員表彰の日 農機・安久津会長

進を図りたい」と挨拶。 来賓紹介の後、永年継 続役員感謝状が(株)土谷製 作所の土谷令次会長と日 農機製工(株)の安久津昌義 会長に贈呈された。 それから土谷北農工副 会長の音頭で乾杯が行わ

れた。最後に十勝 械協議会の山田政 が閉会挨拶。国産 の成功裏の開催 後、先進のICT S対応や視察団